

「再発防止策と取組経過報告書」の令和3年度下半期の取組状況  
(芹が谷やまゆり園)

令和4年4月30日

令和3年度における芹が谷やまゆり園の管理に関する協定書第7条第1項に基づく取組状況について、次のとおり報告します。

1 取組期間 令和3年10月1日から令和4年3月31日まで

2 責任者

(1) 総括責任者

園長 守 民夫

(2) 実務責任者

支援部長 山田智昭

3 「再発防止策と取組経過報告書」の策定経緯

令和元年11月から令和2年3月、神奈川県 of 随時モニタリングを受けた津久井やまゆり園は、随時モニタリングで指摘された利用者の支援上の課題に対して、令和2年12月、その後の取組経過と再発防止策を取りまとめた「再発防止策と取組経過報告書」を県に提出した。

4 取組状況

(1) 身体拘束に頼らない支援の実際

ア 身体拘束の実施状況

|                 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-----------------|-----|-----|-----|----|----|----|
| 承諾書の取得人数        | 0名  | 0名  | 0名  | 0名 | 0名 | 0名 |
| 実施件数<br>(県報告件数) | 0件  | 0件  | 0件  | 0件 | 0件 | 0件 |

※ 改善取組み特記事項

実態として身体拘束状況は改善されているが、毎月の行動制限判定会議は開催している。会議の中では、緊急実施（医療場面）、保護帽の評価、気になる事案等を確認している。

今後、見守りカメラの運用・活用の議論も含めた「身体拘束に頼らない支援構築」を目指し議論していく。

## イ 主な取組み

- ・運営会議の開催（情報共有・周知徹底）

|           |                  |          |
|-----------|------------------|----------|
| 10月5日、29日 | 11月29日、12月7日、27日 | 1月7日、28日 |
| 2月8日、28日  | 3月8日、23日         |          |
| 計11回      |                  |          |

- ・担当者会議等の状況（回）

|            | 令和3年度下半期 |
|------------|----------|
| 担当者会議      | 59       |
| 見学         | 3        |
| 体験         | 2        |
| 意思決定支援検討会議 | 0        |

- ・外部発信

神奈川県意思決定支援チーム向け研修（令和3年10月28日）

個別支援計画への考え方、作成の在り方

進和あさひホーム主催研修（令和3年11月29日）

意思決定支援について、実践を通じた取り組み。

熱海相談支援専門員向け研修（令和3年11月29日）

意思決定支援について相談支援専門員としての取り組み方

神奈川県社会福祉士会研修（令和3年12月20日）

意思決定支援とはどのようなものか、考え方と取り組み、チーム会議で共有してきたこと伝える

体験交流セミナー（令和3年12月3日）

外部コンサルタントを活用し、ティーチプログラムによる統一支援に取組み、行動障害の軽減、社会参加へ向けた支援の事例報告発表

人権フォーラム（令和4年1月29日）

意思決定支援の取組と、地域移行した利用者の事例報告、芹が谷やまゆり園の今を動画で紹介

愛知県相談支援専門員協会研修（令和4年1月23日）

地域生活、地域定着に付いて意思決定支援を通して説明する

神奈川県弁護士会向け研修（令和4年2月8日）

意思決定支援とはどのような取り組みか、取り組みを通して後見人の関わりを伝える

- ・虐待防止基礎研修随時開催

開催回数： 2 回 受講者： 15 名

※ 前期、後期合わせて全職員受講終了する。

(2) 意思決定支援の取組み

ア 個別支援計画の取組み

個別支援計画プロジェクト立ち上げ

- ・時期: 3年5月に発足、下半期継続実施
- ・内容: 個々の受給者証の期間に合わせた個計画作成の見直しを進め、より個別支援計画を意識した支援が提供できるよう、再アセスメントの重要性、ストレングス視点に立った目標設定、定期的な評価・検証ができるようモニタリング様式の変更を進めている。

イ 関係機関との連携

コンサルテーションの積極的導入

- ① 神田宏氏（横浜市発達障害者支援センター 地域支援マネージャー）  
個別ケースの支援再構築を進め、重度障害の地域移行を目指した取組みを令和2年6月より本格的に開始した。
- ② 佐野良氏（育桜福祉会法人本部事務局 総務課長）  
通過型施設として地域移行をコンセプトとした「桜の風」の施設運営をはじめ、施設での取り組みや地域連携、目標を明確にした個別支援計画作成等、これから求められる施設の役割や専門性について、施設訪問の機会を作り学んだ。
- ③ 名川勝氏（筑波大学講師 日本意思決定支援ネットワーク代表理事）  
意思決定支援の本質を学ぶことにより、これから継続した意思決定支援の取組みを進めていくうえでの支援員の気づきを深める。今後モデルケースを設定し、重度知的障害者における意思決定支援のスキームの確立を目指していく。

ウ 利用者本位の考え方に立った支援の実践

- ・第三者委員訪問実績

|        |  |
|--------|--|
| 10月11日 | 1名 ①園の状況報告（ひやりはっと等）、委員からの助言 ②生活2課職員との懇談（生活2課現況報告、委員からの助言）        |
| 11月11日 | 1名 ①園の状況報告（ひやりはっと等）、委員からの助言 ②生活3課職員との懇談（生活3課現況報告、委員からの助言） ③新施設見学 |

|        |  |
|--------|--|
| 12月18日 | 1名 ①園の状況報告（ひやりはっと等）、委員からの助言 ②家族会への出席 ③生活3課家族懇談会への出席、委員からの助言 ④新施設見学 |
| 1月14日  | 1名 ①園の状況報告（ひやりはっと等）、委員からの助言 ②利用者自治会への出席                            |
| 2月22日  | コロナウィルス感染症クラスター発生のため『利用者支援状況の振り返り、意見交換』は3月12日に日程変更                 |
| 3月12日  | 2名 ①利用者支援状況の振り返り、意見交換  |

・オンブズパーソン訪問実績

|       |  |
|-------|--|
| 10月8日 | 2名 ①利用者自治会への出席 ②生活1課職員との懇談（現況報告、意見交換）              |
| 11月5日 | 2名 ①利用者自治会への出席                                     |
| 12月3日 | 2名 ①施設見学 ②体験交流セミナー視聴                               |
| 1月14日 | 2名 ①利用者自治会への出席 ②第三者委員、OP担当職員との意見交換                 |
| 2月22日 | コロナウィルス感染症クラスター発生のため『利用者支援状況の振り返り、意見交換』は3月12日に日程変更 |
| 3月12日 | 2名 ①利用者支援状況の振り返り、意見交換                              |

・ハンバーガーのつどい・あおぞら委員会（人権委員会）

利用者は各々の自己実現を目指すため、芹が谷やまゆり利用者自治会（以下「ハンバーガーのつどい」という。）の活動を原則月1回開催している。コロナ下においてもリモートで各所を結んで毎月開催をした。

「ハンバーガーのつどい」については、園運営を担う活動の一つと位置付け、利用者に適切な情報提示を行なうと共に自己決定を尊重し、活動に必要な支援を行った。

ハンバーガーのつどいには園長、部長も出席し、園としての対応が必要な場合、その場で返答できるように対応した。また、10月から園の決定会議にハンバーガーのつどい会長が参加し、直接意見要望を伝える試みも開始した。

(3) 人材育成

ア 虐待防止基礎研修

講師：各園支援部長

開催回数： 2回 受講者： 15名

\* 前期、後期合わせて全職員受講終了する。

イ 支援現場の声を活かす支援の振り返り・セルフチェック

- ・グループ会議における支援の振り返り
- ・職員同士のコミュニケーションを図る取組み

- ・セルフチェック項目（人権擁護や虐待防止に係る 10 項目）等についてグループ会議で確認しセルフチェックシートにまとめる。

(4) 権利擁護システムの構築

ア 虐待防止委員会の開催（月 1 回）

|       |                  |      |      |
|-------|------------------|------|------|
| 10月5日 | 11月2日、12月7日、1月7日 | 2月8日 | 3月8日 |
| 計 6 回 |                  |      |      |

協議・検討内容

- ① 虐待防止の体制作り、研修に関する事項
- ② 虐待防止のチェックとモニタリングの取組みに関する事項
- ③ 虐待発生後の対応及び再発防止に関する業務点検と改善に関する事項
- ④ その他必要な事項

イ 行動制限判定会議の開催（月 1 回）

|        |               |       |       |       |
|--------|---------------|-------|-------|-------|
| 10月29日 | 11月29日、12月27日 | 1月28日 | 2月28日 | 3月23日 |
| 計 6 回  |               |       |       |       |

協議・検討内容

- ① 身体拘束ゼロに向けた現状の課題整理と取組みに関する事項
- ② 毎月の身体拘束の状況確認及び検証・評価
- ③ 身体拘束継続及び解除についての検証・評価及び承認
- ④ その他必要な事項

ウ 身体拘束に係る手続、記録等の整備

・書類上の整備

やむを得ず身体拘束を行うときには、管理者、サービス管理責任者、運営規程に基づいて選定されている虐待の防止に関する責任者等、支援方針について権限を持つ職員が出席している個別支援会議等において、切迫性、一時性、非代替性について組織として慎重に検討・決定した。また、身体拘束を行う場合には、ご家族等に 3 要件等について園内で慎重に協議し安全に十分に配慮して進めることを説明し了解を得た。

・記録の整備

身体拘束を行った場合には、その様態及び時間、その際の利用者の心身の状況並びに緊急やむを得ない理由等必要な事項を記録した。

また、個別支援計画には身体拘束の様態及び時間、緊急やむを得ない理由を記載した。各種記録の作成と関連がわかるよう、グループ会議等で内容を確認した。

(5) 組織体制の強化

ア 法人事務局・各園との連携

- ・法人運営会議（各園の身体拘束の状況を毎月の第1回目の会議で報告）

| 回  | 開催日    | 場所    | 回  | 開催日   | 場所    |
|----|--------|-------|----|-------|-------|
| 19 | 10月8日  | 秦野    | 27 | 1月20日 | オンライン |
| 20 | 10月22日 | 芹が谷   | 28 | 1月26日 | 秦野    |
| 21 | 11月4日  | 愛名    | 29 | 2月3日  | オンライン |
| 22 | 11月18日 | 芹が谷   | 30 | 2月8日  | オンライン |
| 23 | 11月25日 | 秦野    | 31 | 2月17日 | オンライン |
| 24 | 12月2日  | オンライン | 32 | 2月24日 | オンライン |
| 25 | 12月22日 | 秦野    | 33 | 3月4日  | オンライン |
| 26 | 1月6日   | 厚木    | 34 | 3月24日 | 秦野    |

- ・総合支援部長会議（各園の利用者状況を情報共有するとともに、身体拘束に係る取組状況及び手続等に必要な書類の整備について検討）

| 回 | 開催日    | 場所 |
|---|--------|----|
| 5 | 10月13日 | 秦野 |
| 6 | 12月6日  | 秦野 |
| 7 | 2月17日  | 秦野 |

- ・支援に関する内部監査

| 所属  | 実施日   |
|---|---|
| 秦野精華園・希望の丘はだの<br>厚木精華園<br>愛名やまゆり園<br>津久井やまゆり園<br>芹が谷やまゆり園 | 新型コロナウイルス感染拡大によるクラスターが厚木、愛名、津久井及び芹が谷で発生し、この対応を優先したため、下半期の実施を中止した。 |

監査は、各園の支援部長・法人事務局が各園を巡回して実施しているが、9月以降、一部の監査に監事が同行することとした。

イ 園内の組織体制強化に向けた取組み

- ・グループ会議、リーダー会議、フロア（課）会議（4（1）に記載）